

2011年3月期 第1四半期決算 カンファレンスコール 質疑応答(要約)

Q.

第2四半期の原価率が第1四半期と比べ6%以上悪化する想定であるが、内容はどのようなものか？

A.

第1四半期に比べ6.4%悪化するが内訳としては、固定比率の増加で+2.3%、廃棄損で+1.0%、その他材料費等で+3.1%を見ております。固定費率の増加は、第1四半期に比べ第2四半期の売上が低くなるためです。変動比率については、在庫の減少等のマイナス要因を織り込んでいるためです。

Q.

卸だけでなく販社も伸びているが何か特別な要因があるのか？

A.

今回の制度改革の影響を受ける薬局を、販社も得意先として売上を伸ばしていることが挙げられます。

Q.

第1四半期が好調で進捗が利益もかなり進んでおり、第2四半期も上ぶれると見ているので業績予想修正になると見ているが、どういうタイミングであれば業績予想修正をかけるのか？

A.

先ほども申し上げたとおり、固定比率上昇や販管費の期ズレもありますので業績予想は変えておりません。開示基準に基づき必要があれば業績予想の修正を行います。

Q.

一部新聞報道に出ていた工場の設備投資の記事は正しいのか？

A.

金額等も含め現在まだ検討中であります。

Q.

中小の薬局の動きは本格化しているのか？

A.

まだこれからではないかと考えております。我々としては期待をしております。

Q.

原材料が増えているのは何故か？

A.

安定供給を行うため、今後の生産増に備えて早めに手当てをしているということです。